

令和3年度予算案作成に当たって

いずみ会予算は例年大幅な収支赤字での予算組となっていました。昨年度、最も大きな支出項目である広報費における会報発送数を見直し、会費納入者に限った発送条件に変更しました。今回添付しました資料の様に、ある一定の条件での会報発送とした結果、予算での赤字幅を低減する事ができました。今年度は、コロナ禍における会合の在り方も含めて予算内容を審議しましたので、前年の予算額と差異のある項目について補足の説明をします。

支出の部

●役員・評議員会費

部長会で行った ZOOM での会合を理事会まで展開する事で必要なカメラ、マイクの備品購入費を計上しました。金額としてはおよそ **3万円**を見込んで理事会費を増額しました。結果として、移動時間の短縮合わせて交通費の削減にもつながると考えています。従いまして、支出実績として予算額をすべて使う事は無いと考えます。

●広報費

冒頭に書きましたように本年度大幅に減額が期待される課目であります。

まず会報印刷費は印刷部数の低減と印刷枚数の低減（コロナ禍で記載記事の減少が見込まれます）によって予算額が減ります。見積もった部数は昨年実績の **17300部**から **11500部**で **5800部**減らし、予算としては **28万円**減額となります。

会報発送費につきましては、添付資料にお示ししたように約 **6000部**強の発送数が減りますが、予算案としては昨年実績の **16190部**から **10800部**で **5390部**と抑えています。この予算としては **67.5万円**の減額を見込みました。

一方、例年手作業となっていました会報発送後に宛名不明で戻ってきた会報から、会員の住所データの更新及び返送品の処理を業者に依頼する事としました。この予算は会報部活動費として **2.5万円**を計上しました。

●会費関連費

口座振替費は振込手数料の値上げ分及び会費等納入者の増分を見込んで経費を **3.5万円**の増額予算としました。また、昨年度予算申請した会費規則改正のためのシステム改修費が本年度は発生しませんので、通常のシステム保守費となり **32.5万円**の予算減となりました。

●会員情報費

本年度も新型コロナの影響で会合数が減る見込みで会員情報活動費は **5千円**の減額としました。

以上、支出の合計金額は、昨年度の予算額より **119.5万円**の減額予算となりました。

収入の部

会費の前受金戻入額は、若干ですが減額が見込まれています。この傾向は会費納入者数が増えて行かないと、少しずつですが減少する方向になります。また、名簿関係収入は名簿発行から年月が過ぎるにつれて売り上げ部数が減少する傾向にあります。雑収入は例年同期会開催時にカンパを頂いていますが、今年もコロナ禍で同期会開催が見込まれていません。

以上の理由で収入合計金額は、昨年度の予算額より **6.4万円**の減額予算となりました。

以上